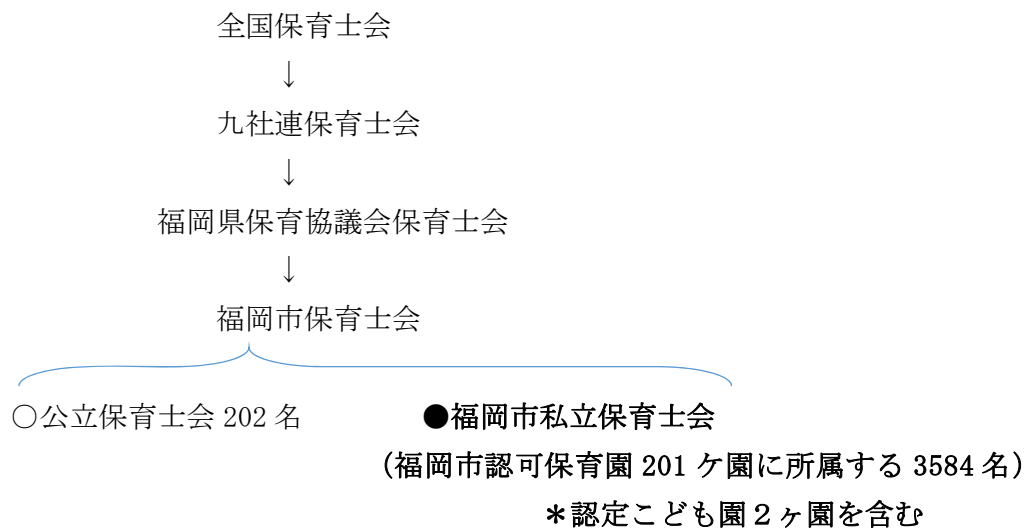


第1回「福岡市保育所運営補助の在り方検討委員会」における意見陳述

福岡市私立保育士会 副会長 安藤ゆり

1. はじめに

○ 福岡市私立保育士会の組織の位置



○福岡市私立保育士会の主な活動

子どもの最善の利益を願い、保育士の専門性の確立と資質向上、子育て文化の再構築をめざし、研修の実施や情報の共有を中心に活動

2. あまり知られていない保育士の使命と役割

- ① 就学前の乳幼児期「人間形成の根っこが育つ」重要な時期の子どもを保育している。これからの福岡市を背負う子どもの育ちは、就学前の保育の在り方が大きく関与
- ② 科学的知識と実践知によって、就学後に必要な「心情・意欲・態度」を育んでいる。
- ③ 保育所保育指針に基づいた PDCA サイクルの中での保育の実践
※PDCA サイクル…Plan(計画)・Do(実践)・Check(評価反省)・Action(改善)
- ④ 3歳未満児や障がい児に対しての、個人差に合わせた保育
- ⑤ 保育の質の向上のための各園の努力
- ⑥ 子育て支援

3. 難しくなる子育て支援の内容

- ① 保護者の子育て力の低下の中でますます必要とされる保育士の専門性
- ② 保護者の多様化

4. 保育士の業務の多さと勤務時間を超えてしまう状況

- ① 多岐にわたる業務内容…毎日の掃除や環境の構成、計画や記録、保育の準備、保護者との連携のための掲示物・便りの準備
- ② 早出居残りの時差勤務の中で起こる実態
- ③ 制度による長時間化にも保育士不足で対応できず、結局、負担が増え、疲弊する保育士の現状
- ④ 意欲ある保育士がやめていく実態

5 福岡市のすばらしさと今回(補助金削減)の事の残念さ

- ① 福岡市の研修体制のすばらしさと保育の質の高さ
 - ・ 正規職員 8 割の努力義務
 - ・ 福岡市と福岡市保育協会が手を携えてともに作ってきたもの
- ② 保育士一人一人に届けられていた「長時間保育手当」のありがたさと有効性
 - ※「長時間保育手当」…平成 6 年に職員処遇改善のために福岡市が独自に保育園職員の給与に上乗せする形で出された補助金
 - ・ 直接私たちに届けられている「長時間保育手当」
- ③ 補助金削減による保育士不足への弊害と困惑する保育士
- ④ 行政に望むもの
 - ・ 子どもの将来を保障する最後の砦である「保育士」の処遇を市で守っていただけないでしょうか